

概要

生物資源科学部に附属研究施設として設置されているバイオテクノロジーセンターでは、学内外の遺伝子解析を中心にサポートを行ってきました。また過去には、国と連携を図り、ダリアの有害植物であるジャガイモやせいもウィロイドの根絶に携わったこともあり、こうした取組の中でさまざまなノウハウを培って参りました。このような経緯もあり、令和5年4月12日より登録検査機関として各種病害の精密検査を行っています。

基本情報

検査の区分

- | | |
|--|-------------------------------|
| ☐ 栽培地検査 | ☐ 消毒検査 |
| ☒ 精密検査 | ☐ 目視検査 |

問い合わせ先

TEL : 018-872-1664

Mail: biotech@akita-pu.ac.jp

検査を行う区域

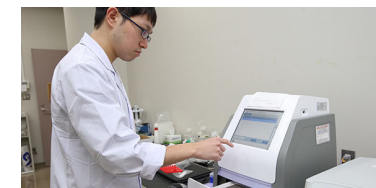
精密検査: 全国に対応



活用事例の概要

種子や苗に感染している各種病原体の有無をPCRやリアルタイムPCRを用いて検査しています。センターにはジェネティックアナライザーも整備されているため、PCR等で陽性となった場合も増幅断片を遺伝子解析し、正確な検査結果を提供します。細菌病については各種選択培地を利用した培地検定も可能です。

相手国の検査要求にあわせた検査、英文での検査報告書の発行も可能です。



活用によるメリット

輸出検査において重要病害だけでなく、検疫対象となるマイナーな病害についてもお問い合わせいただければ、文献等を精査し、高精度の診断結果を提供します。検査結果は植物病理学を専門とする経験豊富な教員が確認した上で所見が記載された試験報告書をあわせて提出しています。

検査で陽性となった場合もその後の対処方法など専門的なアドバイスも可能ですし、汚染種苗からの病原菌を分離し、より詳細な解析にも対応しています。